

4 企業会計収入支出予算の概要

企業会計は、地方公営企業法に定められた諸事業と採算性のある事業について、条例の定めるところにより設置するものですが、本県では、公共の福祉を増進するため、病院、水道、工業用水道および電気の4事業の経営を行っています。

本年度の企業会計予算の総額は、第15表のとおりで、前年度の414億8,422万9千円に比べ、23億9,642万8千円、5.8%の減となっています。

第15表 企業会計予算の状況

(単位：千円、%)

会計名	平成25年度 当初予算額 (A)	平成24年度 当初予算額 (B)	比較	
			増減 (A) - (B)	伸び率 (A) - (B) / (B)
病院事業	7,833,471	7,670,401	163,070	2.1
水道事業	15,579,112	16,596,523	△1,017,411	△6.1
工業用水道事業	10,050,668	12,058,196	△2,007,528	△16.6
電気事業	5,624,550	5,159,109	465,441	9.0
合計	39,087,801	41,484,229	△2,396,428	△5.8

企業会計収入支出予算について、その概要を説明します。

(1) 病院事業会計

病院事業は、こころの医療センター、一志病院、指定管理者制度を導入した志摩病院の3病院を管理運営し、県民が健康で文化的な社会の実現に貢献するため、良質で満足度の高い医療の継続的な提供に努めています。

ア. 業務の予定量

(ア) 病床数 836床
(イ) 患者数

	年間	1日平均
入院患者数	207,136人	568人
外来患者数	152,935人	629人

イ. 収益的収支 収入 5,613,360千円 資本的収支 収入 1,671,248千円
支出 5,863,907千円 支出 1,969,564千円

収益的収入は、入院収益、外来収益などの医業収益29億4,628万5千円、他会計補助金、負担金などの医業外収益26億6,707万5千円です。

一方、収益的支出は、職員給与費27億5,368万6千円、薬品費などの材料費3億1,096万2千円、事業運営経費17億7,386万9千円、施設・器械備品などの減価償却費6億4,272万4千円等の医業費用55億701万円、支払利息などの医業外費用2億3,922万2千円、及び退職給与引当金に係る特別損失1億1,767万5千円です。以上の結果、収支差引で、2億5,054万7千円の当期純損失を計上していま

す。

次に、資本的収入は、企業債4億4,500万円、県費負担金7億5,644万8千円、固定資産売却代金1億1,980万円、短期貸付金返還金3億5,000万円です。

一方、資本的支出は、病院増改築工事費2億2,476万2千円、各病院の医療機器購入など資産購入費2億3,973万円、企業債償還金11億3,527万2千円、看護師等修学資金貸与費に係る長期貸付金1,980万円、短期貸付金3億5,000万円です。

平成25年度の事業運営につきましては、次のとおり行います。

ア. こころの医療センター、一志病院及び病院事業庁（県立病院課）

今後も県立県営が継続されるこころの医療センターと、当分の間は県立県営で運営されることになる一志病院及び病院事業庁（県立病院課）については、「中期経営計画（平成25～27年度）」に基づいて策定した平成25年度年度計画に従って運営を行います。

イ. 志摩病院

指定管理者制度を導入した志摩病院について、指定管理者から毎月提出される業務報告の聴き取り等を通じて経営状況を常に把握したうえで、必要に応じて医師会など地域の関係機関との調整も行いながら、診療体制の回復が着実に図られるよう適切に指導・監督します。

（２）水道事業会計

水道事業は、四日市市、桑名市、鈴鹿市及び亀山市を含む4市4町を対象とした北中勢水道（北勢系：施設能力1日最大給水量149,300m³）、津市、松阪市を対象とした北中勢水道（中勢系：施設能力1日最大給水量140,216m³）、伊勢市、松阪市、鳥羽市及び志摩市を含む4市4町を対象とした南勢志摩水道（施設能力1日最大給水量138,150m³）による給水を行い、上水の安定した供給に努めています。

ア. 業務の予定量

年間総給水量 76,035,596m³

1日平均給水量 208,889m³

イ. 収益的収支	収入	10,160,982千円	資本的収支	収入	1,484,714千円
	支出	8,937,475千円		支出	6,641,637千円

収益的収入は、給水収益99億195万1千円とその他営業収益を合わせた営業収益99億551万2千円及び受託工事収益1億5,137万円等の営業外収益2億5,547万円が主なものです。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用76億845万6千円と支払利息等の営業外費用13億2,701万9千円が主なものです。以上の結果、収支差引12億2,350万7千円の利益を計上しました。

次に、資本的収入は、一般会計出資金12億6,589万6千円や工事負担金2億1,881万8千円です。

資本的支出は、中勢水道改良事業等の建設改良費27億2,613万1千円と企業債等の償還金39億

1,550万6千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の中勢水道等の改良事業のほか、南勢水道拡張事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H25	455,871	455,871	既設設備の改良
北勢水道改良事業	H25	311,274	311,274	既設施設の改良
中勢水道改良事業	H25	1,139,990	1,139,990	既設施設の改良
南勢水道改良事業	H25	494,700	494,700	既設施設の改良
南勢水道拡張事業	H23～26	741,396	218,818	目標日量1,700m ³

(3) 工業用水道事業会計

工業用水道事業は、北伊勢工業用水道（1日給水能力830,000m³）、中伊勢工業用水道（1日給水能力33,000m³）、松阪工業用水道（1日給水能力38,500m³）及び多度工業用水道（1日給水能力10,000m³）により、工業用水の供給をしています。

また、県内の工場に良質な工業用水を安定的に供給するため、的確な水処理や配水運用を行うとともに、北伊勢工業用水道事業等において、施設の計画的な改良や整備を行います。

ア. 業務の予定量

- (ア) 給水会社数 94社
- (イ) 年間総給水量 213,046,062m³
- 1日平均給水量 583,688m³

イ. 収益的収支 収入 5,914,877千円 資本的収支 収入 1,267,433千円
 支出 5,366,415千円 支出 4,684,253千円

収益的収入は、給水収益54億1,662万1千円とその他営業収益を合わせた営業収益58億9,337万1千円と受取利息等の営業外収益2,150万6千円が主なものです。

収益的支出は、人件費、負担金、減価償却費等の営業費用49億1,273万7千円と支払利息等の営業外費用4億5,167万8千円が主なものです。以上の結果、収支差引5億4,846万2千円の利益を計上しました。

次に資本的収入は、一般会計出資金11億6,243万3千円や国庫補助金6,300万円が主なものです。

資本的支出は、北伊勢工業用水道改良事業等の建設改良費23億9,501万4千円と企業債等の償還

金22億8,923万9千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、北伊勢工業用水道改良事業等を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
業務設備改良工事	H25	266,227	266,227	既設設備の改良
北伊勢工業用水道改良事業	H25	1,797,474	1,797,474	既設設備の改良
多度工業用水道改良事業	H25	92,854	92,854	既設設備の改良

(4) 電気事業会計

電気事業は、宮川第一、第二、第三、長、三瀬谷、大和谷、蓮及び青田の8発電所において水力発電を、三重ごみ固形燃料発電所においてRDF焼却・発電をそれぞれ行っています。なお、青蓮寺及び比奈知発電所については、平成25年4月1日に中部電力(株)へ譲渡しました。

ア. 業務の予定量

年間販売電力量 287,299,278kWh

イ. 収益的収支 収入 4,010,962千円 資本的収支 収入 1,136,219千円
支出 4,234,343千円 支出 1,390,207千円

収益的収入は、電力料28億8,243万9千円等の営業収益28億8,335万7千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業収益11億2,094万1千円及び他会計補助金390万円等の営業外収益666万4千円です。

収益的支出は、人件費、修繕費、減価償却費等の営業費用27億3,219万8千円、RDF焼却・発電事業の附帯事業費用13億106万3千円及び支払利息等の営業外費用1億9,908万2千円が主なものです。

以上の結果、収支差引2億2,338万1千円の損失を計上しました。

次に、資本的収入は、固定資産売却代金11億2,350万円や長期貸付金償還金1,271万9千円です。

資本的支出は、三瀬谷発電所改良事業等の建設改良費4億4,291万円と企業債等の償還金9億4,729万7千円です。

ウ. 主な建設改良計画

建設改良事業としては、既設の設備改良事業を実施することとしています。

主な建設改良事業

(単位：千円)

事業名	計画年度	総事業費	うち本年度 事業費	備考
三瀬谷発電所改良事業	H25	153,669	153,669	既設発電所の設備改良

一口メモ

- 収益的収支…当該年度の企業の経営活動に伴い発生する収益（収入）とそれに対応する費用（支出）であって、収入は、サービスの提供の対価としての料金収入が主体であって、支出にはサービス提供に要する職員給与費、支払利息、建物等の固定資産の減価償却費等が計上されます。
- 資本的収支…住民に対するサービスの提供を維持するとともに、将来の利用増に対処して、経営規模の拡大を図るために要する諸施設の整備、拡充等の資産の取得に要する経費、施設の取得に要した企業債の元金償還金などの支出と資産の取得に要する企業債等の収入が計上されます。

